

事業報告

令和7年度 第6回 大分県公立図書館等職員研修会

日 時 令和8年1月19日(月) 13:30~15:20
会 場 大分県立図書館 1階 第2・3研修室
参加形態 ①集合型 ②オンデマンド参加(後日動画限定配信)
参加者 公立図書館等職員 101名(①18名 ②83名)

<研修趣旨>

公立図書館の職員に対し、子どもの読書活動推進について、理論とスキルを学ぶことにより、県内全体での図書館職員のスキルアップを図る。

【講義】 講義 「DX時代の学校図書館支援—学びと資料をつなぐ公共図書館の役割—」
講師 滋賀文教短期大学 准教授 有山 裕美子 氏

講義内容

- 01 子どもの読書活動推進に関する基本的な計画
- 02 学校図書館の理念と学校図書館政策
- 03 公共図書館の学校支援
 - 03-① 公共図書館の学校支援 資料提供
 - 03-② 公共図書館の学校支援 教育相談
 - 03-③ 公共図書館の学校支援 人材育成
- 04 学校図書館における課題 公共図書館がどうサポートするか

<当日の様子(写真)>



<参加者感想>

- ◇学校図書館の現状を知ることができ、大変勉強になった。
- ◇具体的な事例を沢山示して下さったので大変分かりやすく勉強になった。
- ◇学校図書館の支援として、今後も電子書籍を含め、幅広く資料を収集したいと思った。
- ◇手を差しのべたくても何をすれば良いのか分からずいたが、先生のお話を聞いてできる事から提案していこうと思った。
- ◇学校図書館のことはなかなか法的な変化も含めて把握しておらず、そのような部分から説明があったことがわかりやすかった。
- ◇情報活用能力を向上することが不可欠になっている中で、学校図書館、公共図書館に期待されることがよく分かった。
- ◇これからの時代、図書館における電子書籍の必要性も強く感じた。
- ◇共通認識をするために学校の主管課と一緒に見られれば良かったと感じた。